

農業振興公社だより

あけましておめでとーございませう



理事長 黒須 貴

会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年10月28日の第25回臨時総会ならびにその後の理事会で理事長に就任いたしました角田市長の黒須貴です。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外からの移動の制限等のため、市内で開催予定だった多くのイベントが中止となり、本公社でも交流事業等の実施も断念せざるを得なくなりました。目黒区の小学生との農業体験交流や目黒区内でのイベントの参加、農業体験をメインとした「土の塾」などが中止となったことは、たいへん残念であります。



△熱心に受講する会員

伴い、きちんとソフトが消費税率を計算できているかの確認方法や仕訳の確認、集計作業、減価償却資産登録、決算仕訳、青色申告決算書の出力の仕方などテキストを見ながら、わかりやすく説明を頂きました。

長時間の研修にもかかわらず、出席した会員からは、講師の先生に対して、普段、農業簿記を入力している中で、疑問に思っていることを質問するなど熱心に受講されていました。

今年度は、残念ながら多くの事業が実施できませんでしたが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、関係機関と調整をし、開催や参加ができる事業については、公社としても協力し、参加していきます。

- 【あぶくま農学校土の塾】
 - 例年8月下旬に3泊4日の日程で、市内農業者宅に宿泊して開催してきたが、主な参加者である東京農大の学生について、大学として学生の研修等の派遣を中止としたことにより、今回の土の塾は中止とした。
 - 【目黒区関係の交流事業等】
 - 枝野小学校と目黒区下目黒小学校の農業体験学習
 - 10月3日(土)
 - 西根小学校と目黒区月光原小学校の農業体験学習
 - 9月19日(土)
 - 北郷小学校と目黒区緑ヶ丘小学校の農業体験学習
 - 10月7日(水)
 - 北郷小学校のみの稲刈り体験
 - 10月7日(水)
 - 目黒区消費生活展への出店
 - 主催者側の中止により出店せず
 - 目黒区商工まつりへの出店
 - 主催者側のまつり中止により出店せず。

◆ 発行 ◆

公益社団法人 角田市農業振興公社
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊四一
電話 (0234) 63-2321
FAX (0234) 61-1511
URL <http://www.kakunou.or.jp/>

第25回臨時総会及び第3回理事会を開催

令和2年10月28日(水)に第25回臨時総会を開催し、構成団体の体制変更により理事から辞任届が提出されたことに伴う、役員を選任を行い、承認されました。



第25回臨時総会の様子

黒須理事長、舟山副理事長が就任

臨時総会終了後、新たに選任された理事、監事が出席して理事会が開かれ、理事長、副理事長の選定が行われました。その結果、新理事長に黒須貴氏(角田市)、副理事長に舟山健一氏(JAみやぎ仙南組合長)が就任されました。

荒川隆顧問の著書『農業・農村政策の光と影』好評発売中

本公社の荒川隆顧問が、この度、一般社団法人全国酪農協会から『農業・農村政策の光と影』と題して、著書出版し、発売しましたので、お知らせいたします。是非、購入下さい。



お申込先HPのURL : http://www.rakunou.org/publish/publish_shinpo.html

第2回角田産仙台牛祭開催

JAみやぎ仙南角田肉牛部会では、12月12日(土)に第2回角田産仙台牛祭を道の駅かくた(産直広場めぐり)でも販売)で開催され、当公社でも後援しました。このイベントは、コロナ禍の影響で牛肉の価格が低下し、経営に苦しむ畜産農家が、市の補助を受け、牛肉の消費拡大、販売促進のため、開催されたもので、当日は、多くの来場があり、角田産仙台牛をもとめ、長蛇の列ができていました。購入者には、もれなくあぶくま納豆が配布され、角田産の新米や梅干し当たるお楽しみ抽選会にも多くの参加があり、会場は大いに賑わっていました。



△仙台牛を買い求める購入者

公社顧問に荒川隆氏再任 大友喜助氏新任 委嘱状交付

令和2年10月13日開催の理事会において、当公社の顧問である荒川隆氏の顧問の委嘱期間が満了となるため、再度、令和2年10月29日付けで2年間(令和4年10月28日まで)委嘱すること承認をされたことに伴い、委嘱状の交付を11月2日に黒須理事長より行いました。



黒須理事長から委嘱状の交付を受ける荒川顧問

市内の小学生が稲刈りを体験

〜月光原小学校・西根小学校〜

西根小学校では9月19日(土)に全校児童55名で「あぶくま農学校」の稲刈りを行いました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、月光原小学校の児童を迎えての田植え稲刈り等の農業体験交流ができず残念でしたが、児童たちは、楽しんで稲刈りをしていました。

稲刈りはじめの会を体育館で行い、その後、田んぼに移動して、全員で集合写真を撮影し、稲刈りがはじまりました。

はじめは、慣れない様子でしたが、育成会の皆さんの指導により、はせがけができるように刈った稲を児童たちが慣れた様子でまとめました。その後、体育館に移動し、あぶくま農学校副校長



(角田市教育長)から稲刈り体験証明書が授与され、児童からの感想発表があり、無事終了しました。



〜下目黒小学校・枝野小学校〜

枝野小学校では10月3日(土)3〜6学年56名で、農業稲刈り体験及び稲刈り体験証明書授与式に参加していただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、下目黒小学校児童関



係者を迎えて、田植えができず、稲刈りも一緒にできませんでしたが、枝野小学校北側の10アールの田んぼで、午前中に全員で稲刈りをして、稲刈り終了後小学校体育館に移動し、あぶくま農学校副校長(角田市教育長)から稲刈り体験証明書が授与され、各学年の代表者からの感想発表があり、目黒区との交流のきっかけとなった目黒氏を先祖に持つ目黒さんから、これまでの交流の歴史、学習田の所有者の門馬さんから、お米作りの苦労や大変さ、大切な話などがされました。その後、閉会しました。



〜緑ヶ丘小学校・北郷小学校〜

北郷小学校では、10月7日(水)5年生24名で、農業稲刈り体験及び稲刈り体験証明書授与式を開催しました。稲刈り指導等は地元農協青年部が行い、児童は鎌を使って稲刈りを行い、いったんきれいに稲束をまとめておいてから、コンバインでの脱穀作業を行いました。児童は稲刈り終了後小学校に移動して、あぶくま農学校副校長(角田市教育長)から稲刈り体験証明書が授与され、児童から感想発表を行い、無事終了しました。



〜目黒・角田絆交流〜

目黒・角田絆交流では、コロナウイルス感染症の影響で、交流事業ができなかったが、交流田の稲刈りを9月24日に行いました。



〜黒須貫市長と語る〜

角田市農業経営者会議農政懇談会

角田市農業経営者会議(森谷茂会長・会員51名)は、11月26日(木)「仙南シンケンファクトリーセミナー」にて、黒須貫角田市長をお招きし角田市の農政の課題などについて、農政懇談会を開催いたしました。

この懇談会は、経営者会議の事業活動の一環として開催したもので、会員12名と角田市から黒須貫市長のほか、堀米農林振興課長、渡邊補佐、渡部係長、菅原係長らが出席しました。

森谷会長、黒須市長の挨拶後、森谷会長が座長となり、角田市の今後の農政、担い手の確保と育成、現状に対する支援などについて意見交換が行われました。



△意見に答える黒須市長

市からは、今後の農政について、農地プランの見直しについて説明がなされ、今年度は、人・農地プランの実質化(ランゲートの実施・現状把握、農地の集約化に関する将来の方針)に向け、作業を行っており、圃場整備計画についても、現在、市内2地区で営農構想について検討が重ねられており計画が進んでいるとの説明がなされました。

また、角田市の農業の基本理念である『暮らしと命を守る農業』を基本理念に安全・安心、新鮮でおいしい農畜産物の生産・販売に取り組みを行う経営形態も推奨されていることから、今後は、これらの多くの取組み・市民力をつなげるために、財政的、経営的なサポートを推進していきたいとの説明がなされました。

次に、担い手の確保については、現在、市内の認定農業者の減少している現状の話があり、令和3年度の国の予算概算要求されている『経営継承・発展等支援事業』についての説明がなされ、今後情報提供に努めるとともに国の事業の積極的な活用を推進し、若い後継者の挑戦・育成を支援していきたいとの説明がなされました。

さらに『ふるさと回帰支援センター』の活用による農業関係の情報発信も積極的に進め、農業振興公社が中心となり、農業体験や移住体験ができる仕組み作りから新

規就農者の獲得につなげたいと説明がなされました。

その後、市から現状に対する支援策(納豆センター関係、シルバ1人材センター活用による人件費の支援関係)についての説明と12月に角田産農作物(ネギ)を食材にしてリモート料理教室の配信を行うとの情報提供があり、会員からは、農作業風景の動画を作成し、高校及び大学等へアピールしながら、農業体験の受け皿を早期に募集してもらいたいとの要望、丸森町と角田市との連携による排水対策についての検討についての要望等が出されました。

黒須市長と出席した経営者会議会員との活発な意見交換がなされました。



角田市農業青色申告会農業簿記操作研修会を開催

11月27日(金)、角田市農業青色申告会(宍戸明美会長)と角田地域担い手育成総合支援協議会との共催で農業青色申告会の会員らを対象に、農業簿記操作研修会を公社会議室で開催しました。

研修会には午前、午後を合わせて8名が出席しました。

農業簿記のソフト会社であるソリマチ株式会社より講師をお招きして、「ソリマチ農業簿記11」のソフトと研修用テキストを使って操作研修を行いました。



△農業簿記操作説明会の様子

研修会では、昨年の税制改正で軽減税率制度が導入されたことに